

事務事業名	監査実施事務					事務事業No.	811 - 53						
1. 基本情報													
担当部	担当課		担当係		作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名					
監査事務局	監査事務局		監査担当		主査	池部 智恵	局長	畠中 千絵					
施策体系	総合計画	政 策	8	その他									
		施 策	1	その他									
		基本事業	1	その他									
	その他の計画		個別計画		なし								
根拠法令・条例・要綱等	地方自治法第199条、第233条第2項、第235条の2第1項、第241条第5項等 地方公営企業法第30条第2項、飯塚市監査委員条例、飯塚市監査基準												
事業開始年度	不明		事業終了年度		なし	事務事業類型	義務的事業（市に裁量の余地があるもの）						
実施手法	全部直営		補助金等の支給		負担金あり	実施計画期間	なし						
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）													
概要	市の財務に関する事務の執行、市の経営に係る事業の管理及び事務の執行に関して、客観的な立場から監査等を行う。 監査の結果に対して意見等を付し公表することにより、行財政運営の健全性と透明性の確保に寄与し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資する。												
対象	働きかける相手・もの	市の財務に関する事務の執行 市の経営に係る事業の管理、事務の執行											
手段	方法・働きかけ（活動指標）	市の財務に関する事務の執行に対する監査等の実施 市の経営に係る事業の管理及び事務の執行に対する監査等の実施											
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	指摘事項に対する措置改善が行われることにより、事務執行等の適正化及び公正で合理的かつ効率的な行政運営の確保											
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）													
指標名		単位	指標の説明（算式等）		前年度実績	本年度実績	次年度見込						
監査実施回数		課・事業者	監査実施計画に基づき監査を実施した課、団体の数		18	16	15						
例月出納検査実施回数		回	毎月実施した回数の年間合計		24	24	24						
審査実施数		会計・回	審査を実施した会計、基金の数		36	36	36						
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）													
指標	監査実施率	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込						
		%	100	目標値	100	100	100						
説明	実施数/実施計画数	方向性	達成目標年度	実 績	100	100							
		維持	毎年度										
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込						
				目標値									
説明		方向性	達成目標年度	実 績									
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込						
				目標値									
説明		方向性	達成目標年度	実 績									
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）													
経費区分	一般会計 義務的経費・経常経費				特別会計	—							
予算科目・事業	会計	1	一般会計		款	2	総務費	項	6	監査委員費	目	1	監査委員費
	大	99	その他の監査委員費		中	2	監査事務局運営費			他	1	事業	
投入人員 （当該事務事業に対して1年間に投入した人員）	(R2以降)		前年度実績（千円）		本年度実績（千円）		増減理由（10%以上の場合）		次年度予算（千円）				
	正職員		4.37	人	34,725	4.27	人	34,775		4.41	人	35,916	
	任期付職員(保育士)		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0	
	任期付職員(子ども家庭支援員)		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0	
	任期付職員(CW・水質)		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0	
	再任用フル		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0	
	再任用短		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0	
	会計年度 1級フル		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0	
1級パート		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0		
2級パート		0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0		
人件費計（A）			34,725		34,775		—		35,916				
事業費	直接事業費（B）		3,602		3,678				4,531				
	総事業費（A+B）		38,327		38,453				40,447				
直接事業費のうち の主な歳出内訳	報酬		2,541		2,580				2,670				
	需用費		677		729				757				
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）		0		0				0				
	国・県支出金		0		0				0				
	市債		0		0				0				
	一般財源		38,327		38,453				40,447				
その他（ ）													

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	高い	監査実施対象課に対し、事務執行等の適正化を求めることにより、合理的かつ効率的な行政運営に寄与している。
効率性 評価	高い	監査資料等のペーパーレス化を図り、経費削減に取り組んでいる。
有効性 評価	高い	監査実施計画に基づき事業を実施することにより、監査対象課に対しての事務執行の適正化が図られ、継続して行うことが必要であるため。

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
二次評価	評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策 研修会等に参加し情報収集を行う。
		現状維持	
		コストの方向性	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策 監査専門委員等を活用し、情報管理等の専門的分野の監査を実施する。
		現状維持	

前年度改善策に対する実績	★	※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入
--------------	---	------------------------------

飯塚市債権管理条例等に基づき、市税等を除く市の債権の管理に関する事務が適正に執行されているかなどについて全庁的なチェックを行うことに加え、経済性、効率性、有効性の観点から今後の適正な債権管理に資するため「税外債権管理について」行政監査を実施した。また、監査等実施計画に基づき定期監査や財政援助団体監査、指定管理者監査等を実施し、監査における指摘事項について、検討改善が図られたかを確認するため追跡調査を行った。

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
〔成果〕	①「税外債権管理について」をテーマとした行政監査を実施し、本市における税外債権が適正管理されているか調査・検証を行い業務改善のための提言を行った。 ②監査等実施計画に基づき、公正で合理的かつ効率的な行政運営の確保のため、適正に監査を行った。
〔課題〕	「リスク・アプローチ」や事務のDX化に対する監査手法の検討が必要である。

9.今後の事業の方向性と改善策	
成果の方向性	〔理由〕 市の事務執行等の適正化による公正で合理的かつ効率的な行政運営に資するため。
現状維持	〔理由〕
コスト投入の方向性	〔理由〕 来年度も年間計画に基づき、監査等の実施行っていくため事業費は現状維持とする。
現状維持	〔理由〕

次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	研修会等に参加し情報収集を行う。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	監査専門委員等を活用し、情報管理等の専門的分野の監査を実施する。

評価変更理由	成果の方向性	監査事務については、対象を絞り、焦点を見極めながら監査を充実させていく必要がある。他部署等との連携を検討し業務の効率化を図る。 現状発生しているコストは、ほぼ職員の人件費であることから、現状維持とする。
	拡充	
	コスト投入の方向性	
	現状維持	